



永平寺町社会福祉協議会だより

編集発行／社会福祉法人永平寺町社会福祉協議会
<http://www.eiheijishakyo.jp/>

2018 3月号

vol.102

ふだんの
くらしの
しあわせ

ひとやすみ

Contents

- | | |
|--------------------------------------|------|
| 大学生が見た！永平寺町のココが素晴らしい！／安心カード持ってますか？ | P2 |
| 認知症まちづくり講演会お知らせ／成年後見制度のご案内 | P3 |
| ボランティアの力！発信！ | P4～5 |
| 「心配ごと相談」ココが変わります！／ひとりで悩んでいませんか？／寄附御礼 | P6 |
| 平成31年度 赤い羽根共同募金助成団体公募／みんなのサロン運営終了 | P7 |
| 猛威を振るった30豪雪 | P8 |



「この広報誌は、点訳版も発行しています。」

「安らぎを感じて」

撮影場所：永平寺町吉波地区

ボランティアの力！発信

永平寺町では、傾聴ボランティアや配食ボランティアなど様々な方がボランティアとして活躍されています。今回、ボランティアの方々にインタビューをさせていただき、いろいろな話をお聞きすることができました。ボランティア活動をするようになったきっかけや、活動を通して得られたことなどを伺うことができましたので、ご紹介します。ボランティア活動に関心のある方は永平寺町ボランティアセンターまで！

突撃取材!!



ボランティアさん大募集

「ボランティアなんて自分にできるかな？」と考えている方も多いと思いますが、「自分ができることをできる時にする」という気楽な気持ちで始めてみませんか。気軽にボランティアセンターまで、お問い合わせください。活動内容や時間などご相談に応じます。

お話し相手ボランティア

福祉施設で、利用者さんのお話し相手です。ご都合のつく時間・曜日で構いません。

レクリエーションボランティア

福祉施設を訪問し、楽器演奏や紙芝居、歌謡などレクリエーションを行います。また、お花やお茶、習字、絵手紙など特技を活かした活動です。

整髪ボランティア

福祉施設で、入浴後の利用者さんの髪を乾かし整容します。時間は午前中です。ご都合のつく曜日で構いません。

お申し込みお問い合わせ先 永平寺町ボランティアセンター ☎0776-61-6003

※受付時間は平日(土日祝日を除く) 8:30～17:30まで



室林 洋子さん



安達 由岐子さん



B-メイトのみなさん
西野中サロンにて



北野 麗子さん



中村 祥子さん



B-メイトさんにインタビュー

☆ボランティア活動を始めたきっかけは？

図書館ボランティアとして活動を始めました。永平寺町の民話を紙芝居にして、文化祭で披露したのが始まりです。その後、小学校や福祉施設、地域ふれあいサロンなどを訪問するようになりました。仲間も増え楽しく活動しています。

☆ボランティアをして感じたことは？

まず、みなさんに喜んでもらえることが、一番うれしいことです。たくさんの方の笑顔に出会えて、私たち自身も励みになりますし、やっていてよかったなと思います。また、いろいろな地域に出かけて民話について調べたり、永平寺町の歴史を学んだりすることができ勉強になります。最後に、仲間とわいわいしながら楽しんで活動することも楽しみのひとつです。

B-メイトさんの活動

☆40作品目の民話紙芝居「島のうすみザクラ」が完成しました。第3土曜日、「おもしろ図書館」(松岡図書館)で披露されました。

☆永平寺町や図書館の方と協力して、民話のゆかりの地に看板を立てるという活動もなさっております。永平寺町の民話を手作りの紙芝居に残すとともに、歴史的考証もなされています。みなさんの地区でも立て看板を見かけるかもしれませんね。

B-メイトさんのプロフィール

☆活動内容

永平寺町の民話を集めて、手作りの紙芝居を作成し、お子さんや高齢者の方を対象に紙芝居口演をしています。

☆活動場所

町内の幼稚園や小学校、福祉施設、サロン

☆活動年数

平成10年5月に活動を始め、20年近くになります。会員数は10名です。

松田 弥生さんにインタビュー

☆配食ボランティアを始めたきっかけは？

人生の大先輩である高齢者の方と接する機会を持ちたいと思ったからです。また、時間に余裕ができ、何かできないかと考えたとき、広報誌で募集していた「配食ボランティア」を始めることにしました。

☆配食ボランティアをして感じたことは？

利用者の方に感謝され、「ありがとう」という利用者さんの温かい言葉に、自分自身が元気もらっています。また、笑顔に出会えると、私の心が癒され、がんばろうというパワーがわいてきます。



配食ボランティア
松田 弥生さん

笑顔に出会えて
良かったあ～!

上志比茶道クラブさんにインタビュー

☆ボランティア活動を始めたきっかけは？

上志比の公民館で趣味としてお茶や目舞をしていました。自分たちでやっても向上しないので、練習したことを発表する場として、施設やサロンで披露したことが始まりです。もう何年も仲間といっしょに活動しています。

☆ボランティアをして感じたことは？

福祉施設やサロンに伺って、利用者の方々が喜んでくださることが、自分たちの喜びにもなっています。みなさんの笑顔にパワーをもらっています。また、仲間があちこちにでき、友達の輪が広がりました。楽しみながら活動し、仲間と笑いあえる場があることはかけがえのないことだと思っています。踊ったりお茶を点てたりすることは、頭の体操にもなりますね(笑)

町内でも高齢者や一人暮らしの方が増えてきました。様々な人と交流する場が少なくなっている方が多いような気がします。何とか、小さい子も小学生も高齢者の方もみんなでわいわいできる場が、増えたらいいなと思います。難しく考えないで、一般の方も、できることからボランティアしてくださるといいなと考えています。私たちもできる限り活動していくつもりです。



上志比デイサービスにて
お抹茶をふるまいました



上志比茶道クラブさんのプロフィール

☆活動内容

月3回、上志比のサンサンホールでお茶のお稽古をしています。メンバーは6人ほどです。

☆活動場所

町内の文化祭でお茶席をだしておもてなしをしたり、ボランティアとして福祉施設やサロンを訪問したりしています。

☆活動年数

かれこれ30年近くになります。



**相談内容は
秘密厳守!**

民生・児童委員さんへお繋ぎし、
相談日時、相談場所等、
ご要望に応じて、柔軟に
対応させていただきます。

※お一人様の相談時間は20分程度となります。
※事前に電話予約が必要となります。

※受付時間は平日(土日祝日を除く) 8:30～17:30まで

助成団体を公募します

永平寺町共同募金委員会（永平寺町やすらぎの郷内）
TEL:0776-64-3000

「みんなのサロン」についてのお知らせ

これまで、当会による「みんなのサロン」の運営・開設に携わっていただきました皆様のご厚情に、心より感謝申し上げます。

猛威を振るった 30豪雪

37年振りの異常事態

今年2月、北日本から西日本にかけての日本海側を中心に断続的に **お** お雪が降りました。永平寺町でも、昭和56年の豪雪以来の記録的豪雪となりました。

「雪害」となるほどの降雪量で、町内各地で家から身動きがとれない状態になってしまうという **た** が続出。食料や生活物資の確保すら難しい状況。

永平寺町社協職員は、町職員と連携をとり、一人暮らし、高齢者世帯約600世帯ほどの名簿を片手に安否確認と状況把握を急いだ。

ごきんじょ

「互近助力」発揮!!

我々社協職員が、一人暮らし高齢者宅に訪問に伺うと、すでに家の前の雪 **が** キレイに無くなっている…!

家人に話を伺うと、「**近所の方が来てくれて、雪かきしてくんなったんや、本当に助かったわあ〜**」と満面の笑みでお話しされる。

周りを見渡すと、地域の方がそれぞれ声を掛け合いながら汗を拭い、お互い **い** 協力しあい、雪かきをおこなっている。

この光景がとても自然で、当たり前の光景にすら思えたが、地域間の関係が希薄化している現代にあって、いかに「互近助力」が優れているかということが伺える。

今回の大雪は町内においても多くの被害をもたらし、多くの方が不安な日々を過ごされた。

その一方で、地域住民同士の強い繋がりが大きな力を発揮し、いつの時代も“地域の力”に支えられていることを改めて実感。

これからも『**ありがとう**
おたがいさまの **ま ちづくり**』を目指して…



2月7日(水)早朝
松岡デイサービスセンターの様子



地域住民同士での
さ さえ合い

